

保護者面談時 チェックシート(例)

<b>アレルギー原因となる食品には何があるか、どの程度かを確認</b>	
	原因食品を摂取した時、どのような症状がでましたか。
	アレルギー食品を使用した加工食品は大丈夫ですか。
	コンタミネーション(調理加工工場での微量混入)は大丈夫ですか。 (アレルギー専用の設備・器具・食器・人員がないことの説明)
	過去に除去食を行っていたが、今は完全に食べられるようになった食品はありますか。
	学校生活で配慮すべきことはありますか。(掃除・運動・校外学習・調理実習・係活動(黒板)等)
<b>家庭ではどのような対応をしているかを確認</b>	
	除去食はどんな対応をしていますか。
	本人はアレルギー症状の出る食品を把握していますか。
	本人は食品を口にする前に自分自身で成分表示を確認することができますか。
<b>給食での対応について確認と説明</b>	
	原因食品が出たときに、自分で除去できますか。 (学校での管理が必要な場合は、学校生活管理指導表または診断書が必要。)
	除去食対応をする場合、保護者が献立表のマーカーチェックを確実に行うことができなければ正確で安全な対応ができないことを説明し、保護者の責任においてチェックをすることの理解を得る。 (毎月、献立表と必要な場合は詳しい成分表(加工食品原材料配合割合表)をわたすことも説明。)
	給食での対応に管理指導表が必要なことを伝え、入学式までに主治医に記入してもらうようお願いする。 情報共有同意の確認
<b>今までにアナフィラキシーショックを起こしたことがあるかを確認</b>	
	一番最近起こしたのはいつですか。
	起こした時の対処はどのようにしていますか。
<b>家庭との連絡方法について聞き取る意義を説明</b>	
	緊急時の保護者との連絡について、携帯電話や勤務先等、必ず連絡できるよう複数の緊急連絡先の確保が望まれます。
	食物アレルギーで日常受診している医療機関及び緊急搬送先について、医療機関名とその連絡先を確認し、あらかじめ症状が出たときの対応方法を把握しておく。
<b>緊急時のエピペンの使用について説明</b>	
	学校に携帯する薬の保管場所(自分で管理・服用できるか)と有効期限を確認
	本人にエピペンを打つように促し、本人が打てなければ、その場に居合わせた教職員が打ちます。使用期限が過ぎていることのないように注意してください。

☆これらの聞き取り情報をもとに、その後に協議し対応内容を校内で決定する。その内容を後日改めて連絡することを保護者に伝える。